

『淫呪シスター ~おちんぼ中毒 膣奥で神様ごめんなさい~ 』

■プロローグ

…迷える子羊よ。ようこそ、懺悔室へ。

さあ、そちらの椅子におかけになって、あなたの胸の内をお話してください。

ここで打ち明けた内容は、決して口外いたしません。

どのような悩みも、罪も、主はその慈悲深いお心により、全てを受け入れてくださいます。

さあ、神に懺悔を……。

……はい。……はい。そうでしたか…。

あなたのお悩み、よく聞かせてくださいました。

確かに、お仕事に怠惰であったり、村の行事を蔑ろにしてしまうというのは、罪の意識を感じてしまうのも仕方ありません。

ですが、人は誰もそういった、弱い心を持っているものです。

それに、無理をしすぎてもお身体に障りますし…。きちんと健康に気を付け、周りとは相談した上でお休みになるのなら、神はお許しに……。

えっと、別の理由があるのですか？

……いえ、遠慮なさらないでください。

もちろん無理にとは言いませんが、せっかくここまで来られたのですから、胸の内にわだかまりを残したままでは、すっきりできないかと…。

……そ、そんなに、話しづらい内容なんですか…？

……その、この場で言うことではないのかもしれませんが…。

立場は違えど、私たちは、幼馴染の間柄なんですから。気にする必要なんてないんですよ？

……え？ 他のシスターは、今はいませんけど……。私では、そんなに頼りないでしょうか…。

……でしたら、懺悔をお願いします……。あなたの、お力になりたいんです……。っ。

……はい。……はい。……ん？ ……えっ、あ、う…

……ええっ、そ、そんなにたくさん…っ、うあ、うう……。

な、なるほど……。

この神聖な場所では、話しづらい内容だったかもしれませんね。

特に、幼馴染相手だと、余計に……。

で、ですがまさか、仕事に身が入らない原因が色欲のせいだったなんて…。一日に何度も、え、えっと…じ、自慰行為をしてしまっていては、確かにお仕事が捗りませんよね…。

た、ただ、勇気を出して告白してくださってありがとうございます。
私は、禁欲を架せられた身…あなたの行為を認めることはできませんが、その素直な心は、神に届いているかと。
……はい、ご安心ください。今日の懺悔は、改心への第一歩です…。
心を清く、穏やかに保つことができれば…その、性的な欲望も、きっと抑え込めるはず…。
きっと、あなたなら大丈夫だと信じています。

……あ、あの。本当はこういうことしちゃ、ダメなんですけど…。少しお耳を近づけていただけますか？

……ん、ありがとうございます。

その…今回のような懺悔は、私以外のシスターにはしない方がいいのかなと…。
私は昔からあなたのことを知っていますから、いいですけど…他のシスターに話したら、色欲魔として即刻摘まみ出されてしまうかもしれません…。

わ、私は、大丈夫ですっ…。
ほら、あなたが性欲に負けて襲いかかってくるような人じゃないって、知っていますから…そう、ですよね？
ふふっ…もちろん、疑ってなどいませんよ？

では、今日の懺悔は以上でしょうか…？
……分かりました。どうか、良い方向に向かうことを祈っております。
……それで、その……もしお時間があれば、最後に少しだけお聞きたいことがありますして…。
もう一度、お耳をお借りしても…宜しいでしょうか？

……ん。
……で、では、そのう……。

さっきも言っていたように、だ、男性はそんな、い、一日に何回も発情してしまうもの、なのではないでしょうか…？
え、えっと、私は経験がないのでわからなくて、あなた以外の男性もそうになってしまうの

かと気になってしまって…。

……あ、ああ…そそ、そうなんですネ。

さすがに、男性全員があなたのようになってしまっては、大変ですものね…。

ち、ちなみに、発情してしまったときは具体的に、どんな風になってしまうんでしょう…？

……な、なるほど…それは、大変そうですね。

私はそんな、身体が熱くなって、は、破廉恥なことしか考えられなくなるような経験はないので…。

あ、あの、今のお話で、ちょっと聞き慣れない単語があったんですが…ぼっ…勃起？ というのは、こういった状態なんですか…？

え、ええっ？ は、初めて聞きました。男性の恥部が、そんな風になってしまうなんて…そ、それから…

……あ、えと、興味とかではなくて…っ、これはあくまで単なる知識欲求といいいますか…っ

あっ…。す、すみませんっ、色々と…。

そろそろお祈りの時間なので、今日はもう失礼しますねっ…

また何か、懺悔したいことがあれば、いつでもいらしてください。

そ、それではっ…！

■トラック1

んあっあっあっ、はあはあ…あ、あの…誰か、居るのですか？

やっ、んっ、あっあっ…。

そこの、本棚の陰に隠れているんですよね…？ あっ、んっ…そんなところで覗いていないで、出てきてもいいんですよ…？

んくっ、あっあっ…♪

や、やっぱり、あなただったんですね…♪ あ、んっ…ああ。

村の者に言われて、わざわざ捜しに来たんですか…？ はあ、ああ…こんな、修道院の地下図書室まで…んう、はあ…。灯台下暗し、ですねえ。

ん、んう、ああ…何って、見ての通り、自慰行為をしているんですう……ふあっ、あっ…。

ね、ねえ、これ、本当にすごいんですよ…？

こうやって、おまたの割れ目…おまんこを、指でくちゅくちゅってかき回すと…。

あっあっあああっ、き、気持ちいいっ…。

身体の奥が熱くなって、頭の中が真っ白になるくらい、感じちゃうんですっ…んあっあ
っ、あっ、んんっ…！

はあはあ…んっああっ、私、初めて知りました…オナニーって、とっても気持ちいいものだ
ったんですねっ…。

ああ、こんなに素晴らしい行為を知らなかっただなんて、あっ、ああっ…も、もったいない
ことをしてしまいました…。

…ん、んあ、ああ…ふふ。なにをそんなに、うろたえているんですか？

シスターである私が、こんな淫らなことをしているのが、不思議でたまらないみたいです
ね…。

や、やめませんよ…？ こんな気持ちいい行為、途中でやめられるわけじゃないんです
かっ…んっ、ああっ、んんっ！

そ、それより、神に仕える身でありながら、ひどく乱れてる私のこと、もっと見てくださ
いっ…。

ん、んう、んあ、あんっ、はあ、ああ…この、淫らな音もお…んんっ

んあっ、あっ、ああっ…し、シスターなのに、淫らに自慰に耽って…ああ、こんな私、どう
思いますか…？

い、今さら、きれい事を言っても無駄ですよ…？

さっき、物陰からこっそり見てましたよね？ 私のこと…。

ちゃんとわかっていますよ…？ あなたは性欲が強く、一日に何回もオナニーをしてし
まうんですから。

本当は、おまんこを弄ってる私のこと、見たくて仕方ないんですよね…？

……ふ、ふふっ、やっと認めましたね…？

ほら、もっと近くで見てください…

や、んんっ…鼻息、荒くなっていますね…？

ど、どうしてでしょう…あなたが興奮してくれて、私も、う、嬉しいですよ…や、んんっ…。

で、でも…こんな痴態を見られて、また身体がうずいてしまうなんてっ…もう完全に、シスター失格ですねっ…やっ、あぁっ…！

はぁはぁ……んっあぁっ、あぁっ、んっ……！

は、鼻息が、当たって…んっあぁっ、や、あぁっ…！

わかりますか？ 私の匂い……メスの匂い……。

も、もう、釘付けですね…？

私の痴態、気に入ってくれましたか…？ んっ、あぁっ…。

じ、じゃあ…今、ぼ、勃起していますよね…？

勃起している所、手で隠さないで、私に見せてくれませんか…？

……あぁあぁっ、すごいっ…！

こ、これ…痛くはないんですか…？

はぁ、はぁ……そ、そうなんです…。

確かに、ズボンが破けそうなくらい、股間が膨らんで…かなり苦しそうに見えます…

んっ、はぁ、はぁっ…これが、男性の勃起…ズボン下では、男性器がどうなっているのか…想像するだけで、おまんこがうずいてしまいますっ…！

本当のセックスでは、この男性器が私のおまんこに入ってきて…犯されてしまうんですねっ…♪

そう考えるだけで…ひぁっ、あぁあぁっ！

ゾクゾクしてっ…指、勝手に動いてっ…！

はぁ、はぁ…いい、いいですよっ…そのまま、見ていてくださいっ…

勃起チンポに興奮しながら、オナニーするところっ…！

んっ、はぁはぁっ…！ ひうっ、んっ、あぁっ！

も、もうっ、だめえっ…！ おまんこの奥、ぐちゅぐちゅってかき回すの、気持ち良すぎますっ…！

ひぁっ、あぁっ、んっ！

お、おまんこきゅんきゅんしてっ…あっ、あぁっ、な、何か、来てしまいそうですっ…！

あんっんっ…！ やっあぁっ、あぁあぁっ…！

い、イクイクッ…！ い、イキそうっ…！ やっあぁっ…！

み…見て、くださいっ…！ シスターなのに、オナニーして…エッチな処女おまんこイクところ、み、見ててえええっ…！

んっ…！ あっあぁあぁっ！ あんっ、んっ、あぁあぁあぁっ…！

こ、これ、しゅごいいいっ…！ 指、奥まで入れてイクの、気持ち良いい…♪

んっ…あっあぁあぁっ…ひぁっ、あんっ、んっ、あぁあぁっ…♪

おまんこ、感じすぎて…ど、どうにかなってしまいそう…です…♪

はあ、はあ…やっ、あああっ…こ、これ、すごいっ…おまんこから、淫らなおつゆがあふれてきてるの…み、見えますよね？

これ…あなたに見られながらイッたから…こんな風になってしまったんですよ…？
一人で絶頂した時よりも、ずっと気持ち良かったから…だからこれは、あなたのせい、なんです…ふふっ♪

ん……どうしましたか？ 急に改まって……。

ああ…私が、あんなことをしていたのが、不思議でたまらないみたいです…？

確かに、私は神に仕える身…自らを律し、純潔を守らなければなりません。ですが…

…知ってますか？

シスターだって、性欲は溜まるものなんですよ…？

私も、女ですから…。我慢にも限界はあるんです…はあ、はあ

ええ、私もあなたと同じ…本能的な欲求は、どうしても消せません。ただ今までは、それをどう発散すれば良いかわからなかっただけで…

…それを教えてくれたのが、この淫呪の書です。

これは、歴代のシスターたちの行き場のない性欲が込められた、呪いの書…。

この書に触れたものは呪われてしまい、心の奥底に眠っている欲望をむき出しにしてくれるのです……。

その証拠に…ほら、普段と目の色が赤く変わっていますよね…？

いえ……呪われているといっても、淫呪の書に操られているわけではありません。

これはただ、見て見ぬ振りをしていた欲望を膨らませ、呼び起こしてくれただけ…。

ですから……むしろ、この姿はある意味、私の本性とも言えるものなのです……。

…失望しましたか？

シスターなのに、心の奥ではドロドロとした欲望を隠し持っていたなんて……。

ん、ああ…ふふっ、優しいんですね…。こんな、普段からは考えられないようなこんな痴態を見せつけられても、まだ私のことを肯定してくれるだなんて…。

やっぱり、あなたを選んでよかった…。

呪いを解く方法は、私もわかりません…淫呪の書にも、それは書いていませんでした…。

ですが、淫呪の書は眠っていた欲望を解放させる書物…。

つまり、溢れる欲望に従って行動すれば、最終的には呪いを解くことができるのではないかと思うのです。

そう…今まで禁止されていた、エッチ（淫ら）なことをすれば…解除できるかもしれません……。だから、いいですね？

他に方法が浮かばない以上、こうするしかないかと…。

……そして、呪いを解くためにはあなたの協力が必要です…

お願いします、手伝っていただけませんか…？

あ…残念ながら、呪いを解除するまで、ここから出られませんよ…。そういう魔法が、この部屋にかかっている…。

……はい、それも淫呪の書の魔法によるものです。

ですから、ここでただじっとしていても、助けが来ることもありませんし、何の解決にもならないのです。

……ふふっ。ええ、そうです。

最初から、選択肢なんてなかったんですよ…？

……でも、実際のところ、あなたも期待していますよね…？

おちんちん、こんなに勃起させて…口では格好いいことを言っておきながら、本当はエッチしたくてたまらない……そうでしょう？

……ふふ。別に、何か特別なことをする必要はありません…。

あなたはただ、私身を委ねてくれていれば、それでいいんです。

ふふっ…動けませんか？

この魔法、すごいですよね？ これも、淫呪の書によって得られた力…。

ああ、素直に従ってもらえば、こんなことをしなくて済んだのに……。

あなたは性欲だけは人一倍強い癖に、変なところで正義漢ぶろうとするから……こうするしかありませんでした。

…でも、内心、こうなってよかったと思ってるんじゃないですか？

拘束されれば、私に襲われたって言い訳できますものね…？
もう、長い付き合いです…あなたが私を犯す勇気がないのは、ちゃんと知っていますよ…
心配しなくても、大丈夫です…
これから私の手で、あなたのやらしいところ、いっぱい気持ち良くしてあげますから…♪
お互い、溜め込んだ欲望を、思いっきり解放させていきましょうねえ…♪

■トラック2 淫呪の書、催淫の章

それでは…まず、私を好きになってもらいましょうか。
……あら…不思議そうな顔をしていますね。

好きでもない相手と、淫らな行為をするなんて…それこそ神に背く行為だとは思いませんか…？

ですから、あなたには私のことを好きになってもらいます。
ふふっ…方法なんて、簡単ですよ？

まずはこうして…真っ直ぐ、お互いに見つめ合うのです…。
そう、目をそらしてはいけませんよ…？

ふふっ…顔、赤くなってきましたね。
…恥ずかしい、ですか？ …私もです。

んっ、ああ…こうして見つめ合っていると…
ああ、すごく胸がドキドキします…男性とこんなに至近距離で見つめ合うなんて、生まれて初めてだから、でしょうか…。

心臓がどくんっどくんって高鳴って、うるさいくらい…。
あなたにも聞こえてしまうんじゃないかと思うと、んっ、はぁ、はぁ…ほら、呼吸が荒くなっているの、わかりますよね…？

ん…ええ、もちろん、ただ見つめ合っているだけでは終わりませんよ？

こ、ここからは……き、キスをするのです…。

……恋人同士になるなら、キスくらい当然ではありませんか…。
も、もちろん私も初めてですし、教えに背いてしまう怖さもありますが…でもそれ以上に、
あなたとキスをしたいのです…。
いけないとわかっているけど、この気持ちは抑えられませんっ…。

んっ…ちゅ、ちゅ、ちゅうっ…ん、ちゅう、んんっ…。
ん、ふふっ…初めてのキス、あなたとしてしまいました…♪
これで、私の純潔はあなたのもの…ですね…♪

ん、ちゅ、ちゅ、ちゅう…んちゅ、ちゅ、ちゅぶ…ん、ああ…

んあ、ああ…これが、キス…。
唇同士が触れ合ったただけなのに、身体中が熱くなって…もっとしたくなってしまう…
んっ、はあ、はあ…さあ、もう一度…キスをしましょう…？

んっ…ふふっ、今さらやめたところで、どうしようもありませんよ？
今度はもっと、激しいキスをしてみませんか…？
今よりも、より背德的なキスを…♪

さあ、口を開いて…舌を出してくらはい…♪
んあ…ん、ちゅう、んん、れるっ、れるうっ…ん、んじゅっんじゅっ、れるっ、れるっ、れ
ろお…♪

はあ、はあ…あ、んん…♪
こ、これは、いけませんね…止まらなくなってしまうそうです…れるう…んちゅ、ちゅぶ、
れるお…んあ、ああ、はあ、はあ…。
口の中で舌を絡ませるの、すごく気持ち良くて…あ、んんっ…もっと、したくなってしまう
ますっ…♪

ちゅぱあ、はあ、はあ……ん、ああ…。
べろちゅー、気持ちいいですね…？
いっぱい感じてくださって…私も嬉しいです♪

……ん、ああ…もちろん、初めてですよ…？

れるう、んっ、んちゅうう…なのに、こんな淫らなキスができるのは…れるれるう、淫呪

の書のおかげです…♪

ちゅ、れるっ、れるお…書の力によって、どうすれば男性を感じさせられるのかが、なんとなくわかってしまうのです…んちゅ、ちゅうう
れるれるう、れるちゅうう、ちゅぱあ…

キス以外にも、例えばこんな方法も…♪

ん、はあ、はあ…。

こんな風に、耳元でささやかれると…ゾクゾクしてしまいますよね…？

ここからはあ…♪

もっと身体を密着させて、私の声を、もっと近くで聞かせて差し上げます…♪

はあ、はあ…あ、ん…はあ、はあ、んん…

耳、敏感になってるんですね…？

こんな、わかりやすく反応するなんて…♪

ああ、ん…はあ、はあ…

少し囁いただけなのに…感じてしまっているのですか…？

さすがは、毎日何度もオナニーをしてしまうような変態さんです…♪

いつも私の淫らな姿を想像して……しているのですか？

はあ、はあ…あ、んん…でしたら次は…こういうのはいかがでしょう？

んあ…ああ、れる、れるう…んあ、ああ…ちゅ、れるお…。

……耳、舐められて…感じていますね？

んちゅ、ちゅ、れるう…ああ、んん…。

耳、舐められるの…ちゅ、んん、ちゅぶ、好きなんですか…？

……なんて、そんなこと、聞くまでもなさそうですね♪

れる、れるお…気持ちよさそうにしてくれて、私も嬉しいです…♪

んああ、れるっ、ん、ちゅう…ちゅ、ちゅうっ、れる、んん…。

でも、これはまだ序の口…。

こんな耳の表面だけじゃなくて、奥まで舐めたら…もっと気持ち良くなれますよ…♪

あむ。
んちゅ。

……いいですよ…お気に召したなら、いくらでも、耳を舐めて差し上げます…んあ、ああ…。

あむ。
んはあ。

はあ、はあ…ああ、んっ…。

すっかり、顔が蕩けてしまっていますね…♪
……あら？　そろそろ、催淫効果が出ていてもおかしくないのですが…。

まあ、いいでしょう…効いていないのなら、効果が出るまで続けるだけのこと…♪

ん、ああ…気持ちいいですか…？

んっ、あ、ああ…れるっ、ちゅ、んん…。
……ふふっ、反対側の耳ばかり舐めてたから、早くこっちも舐めて欲しかったんですよね…？
言わなくても、ちゃんと分かりますよ…？

はむ。
んちゅ。

ん、あああっ…そんなに、気持ちいいんですか…？
んん、れるっ、れるっ、れるお…。
耳だけで、声を出して感じてくれるなんて…私も、ゾクゾクしてしまいますっ…♪

あむ。
んちゅ。

はあ、はあ…んあ、ああ…
気持ちいい…気持ちいい…ですよ？
れる、ん、れるっ、れるお…ちゅうっ…耳穴、ヌルヌルのやらしいペロで犯されて…感じてしまっているのですよね…？

れるっ、ん、あああ…れるお…そんなに喜んでくれたら、止まれなくなってしまうではありませんか…♪

あむ。
んはあ。

あ、んん…はあ、はあ、はあ…ちゅ、んちゅ、れるう…♪
……お、おちんちん…反応してますね…？
ちゅぷ…ん、ちゅうっ、ちゅば、れるっ、れるう…。
ビクビク震えてるの…ズボンの上からでも伝わってきます…♪
ん、れるっ、れるう、んん…し、しかも…いつの間に、先っぽが染みまで作って…これは、
どういうことなのでしょう…？

……んっ、はい…はあはあ、んんっ…。
へえ…これが、カウパーというもの、なのですね…♪

淫呪の書にも書いてありましたが…実際に触ってみると、少しヌルヌルして…んあ、あ、あ
あ…匂いも濃厚で、頭がクラクラしてしまいます…っ。
あ、あの…ズボンの中、見せてもらってもいいですか…？
……当然、それが禁忌に触れることはわかっていますが…どうしても、あなたの…お、お
ちんちんを見たくて…… 止めても無駄ですよ？

ん…あ…あ、ああっ…！
んっ…んんっ…え、う、嘘っ…！？
こ…こんなに、大きいものが隠れていたなんて…っ。

も…もっと、近くで見させてもらいますね…っ。

はあ、はあ、んっ…ごくっ…はあ、はあ…。
こ、これが…本物のおちんちん…っ！
んっ…あ、ああっ…どうしてでしょう…っ。
まるで、悪魔のような形をしているというのに…目が離せなくなってしまう…っ。
すんっ、すんっ…ああああ…匂いも濃くて、頭が痺れてしまいそう…っ。
んあっ、あ、ああっ…はあ、はあ…。

ず、ずるいですっ…こんなものを見せつけられたら…はあ、はあ…唯一残っていた理性も、
吹き飛んでしまうじゃありませんか…っ。

はあ、はあ…ご、ごめんなさい…。私、自分を律することができなくて…。
あなたのおちんちん、どうすれば感じさせられるのか、教えて貰えませんか…？
はあ、はあ…先っぽ…
この、ぷっくりと膨らんだところですね
あ…それとも…きゅんって上がってる玉がよかったですか…？

……あ、ああ…っ、そんな、卑猥なことを…あ、んっ…わ、わかりました…。

で…では、早速…やってみますね…？
こうやって、下から、擦り上げればいいんですよね…？

シコ、シコ…ああ、ん、はあ…シコ、シコ…。
シコ、シコ…はあ、はあ、んんっ…シコ、シコ…。
はあ、はあ…ん、はあ、はあ、ああ…♪

……や、あ、んんっ、触られるの、気持ちいいんですね
お、おちんちん、ビクって跳ねてますよ…っ？

はあ、はあ…シコ、シコ…あ、んんっ、先っぽのお口から、エッチなおつゆが溢れてきて…
おちんちんって、こんなにわかりやすく反応するのですね…♪
たくさん感じてくれて…すごく嬉しいです…♪

でも…耳も一緒に舐められたほうが…もっと、気持ちよくなれそうだと思いますか…？

……ふふっ、すぐに出てしまいそうなら、その方が好都合です♪
だって今日は、何回も射精していただく予定なのですから…♪

ん、ああ…獣のような性欲を持つあなたなら、そのくらい問題ありませんよね…？
んああ…れる、れるお…ああ、ん…シコ、シコ…シコ、シコ…。
ああむ、ああ…れるっ、れるうっ、んああ、あ、んんっ…。
シコ、シコ…シコ、シコ…んん、はあ、はあ…っ。

……思った通り、たっぷり感じてくれてますね♪
あなたのおちんちん、手の中激しく暴れて……ふふ、快楽に溺れているのがよく伝わってきます…♪

あむ。
んちゅ。

れるっ、んっ…んあ、ああ…♪
あ、熱いっ…♪ はあ、はあ…ちゅ、れるっ、んちゅ、れるうっ…♪
おちんちんって、こんなに熱くなるものなんですね…しかも、硬さもどんどん増してきて…っ、すごくエッチです…っ。

あむ。
んちゅ。

んっ、はあ、はあ、はあ…。
……そんなこと言われても、やめませんよ…？
んあああ…れるっ、んっ、ちゅうっ、れるお…。
せっかく気持ち良くなってるのに、もったいないと思いませんか…？
んっ、あ、はあ、はあ…どうせならこのまま、射精するところを私に見せてください…♪

あむ。
んちゅ。

あ、ああっ…あ、んんっ…もう、限界のようですね。
……はあ、はあ、はあ…いいですよ…私の手で、精液、出してください…っ。

……んっ、んんっ！
んあ、あ、ああ…すごい…びゅうううってえ…はあ…はあ…。
はあ…はあ…はああ…。

……こ、これが、射精、なのですね…お、驚きました…まさか、こんなに勢いよく出るなんて…。

はあ、はあ…あ、んんっ…そ、そして、これが本物の精液…っ。

あ、ああ…んんっ…想像よりもドロドロしていて…すん、すんっ…カウパー以上に濃厚で…不思議な匂いですが…嫌いでは…んっ、はあ、はあ…。

あ、味は…れるおれるっ…んちゅ、くちゅ、ん、んんっ…こくっ…。

んっ、あ、ふああ…っ、か、身体が、熱いっ…。
少し舐めただけなのに、魔力が高まっていくのを感じます…っ。
はあ、はあ、あ、ん、んんっ…はあ、はあ…っ。
……だ、大丈夫、です…。
で、ですが…強い魔力のせい…ま、また…淫らな欲求が、膨らんできちゃいました…っ。

このまま、最後まで付き合ってもらいますよ…
私の性欲が満たされるまで……ふふ

■トラック3 淫呪の書、愛欲の章

はあ…はあ…あ、んっ…。
ど、どうでしょう…？
もう、催淫効果が出てきたんじゃないですか…？

……んっ…強情ですね…。
これでもまだ、効いてないと言い張るなんて…。

でも…本当は、したくて、たまらなくなってるんじゃないありませんか…？
なのに…効いてないと言い張っているのなら…次の行為に移っても問題なさそうですねえ…♪

……あら、そんなの、セックスに決まってるじゃありませんか…♪
男性を催淫した後は、欲望に従って快楽を貪るべし…と、淫呪の書に書いていましたから…♪
…けれど、それ以上に…あなたと繋がりたいと思ってしまっているのです。
……あなたがどう言おうと、私は止められませんよ？

さて、すぐにでもセックスを始めたいところですが…あなたのおちんちは、準備ができていないようですね…。
さっき、あれだけの量を出されていたので…無理ありません

なので…これから、私が魔力を分け与えてあげますね…♪
全身にキスをしていけば、おちんちんもすぐに元気になるかと…♪

ん…ちゅ、ちゅうっ…ちゅ、ちゅう、ん、ちゅう…ちゅ、ちゅ、ちゅっ…。

……ふふっ、こそばゆいですか？

大丈夫…すぐに気持ちよくなりますよ…♪

ちゅう、ちゅぱあ……はあ、ふう…。

おちんちん、徐々に昂ぶってきたみたいですね…？

魔力が全身に行き渡ってきた証拠かと…♪

…ただ、まだ少し硬さが足りないようです。

んっ、はあ、はあ…こういう時は…確か、フェラチオが有効だと書いていたような…。

お口でモノを咥えるなんて…かなり大胆な行為ではありますが、勃起させるためですから…仕方ありませんよねえ

ん、ちゅ、ちゅ、ちゅう…んちゅ、ちゅ、んん…。

……ん、ふふっ、早速反応していますね…？

ちゅ、んちゅ、ちゅう…ちゅ、ちゅう…やはり、並の性欲ではありません…♪

ちゅ、ちゅう…ん、ちゅっ…ちゅぱあ。

ああ…それにしても…こうしておちんちんに口づけするとお…ちゅう、ちゅ、ちゅぱあ…匂いを直接感じられて…おまんこ、濡れてきちゃいます…っ。

んっ、ああ…。もっと、あなたのおちんちんを、味わいたくなってしまいました…。

はあ、はあ…んっ、んくっ…これは、勃起させるために必要なこと…ちゅ、んちゅ…ああ神よ、はしたないこの私を、お許してください…っ。

ん…あ、ああ…れるっ、ん、ちゅ、れるっ、れろお…んあ、れる、んっ…れろっ、れろお…ちゅう、ちゅぱあ…。

んあ…はあ、はあ…これが、おちんちんの味、なのですね…っ、んちゅ、れるっ、れろお…んあ、れるう…。

先ほどの精液の味がして…っ、もっと舐めたくってしまいます…っ。

れるれろお、れるれろお…ああむ。

……んあ、ああ…フェラチオ、そんなに気持ちいいんですか？

れるっ、れろお…ん、ちゅうっ…カウパーが溢れてきて…す、すごい味になってきていますよ…？

……た、確かに、十分勃起しているかもしれませんが…こんなになっていたら…れるっ、れるちゅう、ちゅう…れるっ、んん…もっと、舐めたくなくなってしまいます…っ♪

ちゅばあ、はあ、はあ…んあ、ああ…。

……え、ええ、そうですね…。

こんな…っ、男性器に直接舌を這わすだなんて、淫らな行為…れる、れるお…他のシスターが見たら、きっと発狂してしまうでしょう…っ。

れるっ、ちゅうっ…い、いけないことだとわかっているのです…っ、でも…（だから…）こんなにエッチで美味しいもの…れるれるお…舐めずにいられません…っ。

ぢゅぼっ、んじゅっ、ちゅるるう…んん…っ。

お、おちんちん…っ、口の中でビクビクしてっ…んあっ、ぢゅぼ…んちゅうう、で、出そう、なのですか…？

……ぢゅぼっ、んじゅっ、ちゅぢゅうう…だ、ダメですよ？ これから、あなたは…れるっ、んちゅう…私とセックスするのですから…んちゅ、れるっ、れるうう…まだ、出してはいけません…

ぢゅぼっ、ぢゅぼっ、んじゅっ、じゅるう…ぢゅぼっぢゅぼっ、ぢゅちゅううう、ちゅばあ……♪

はあ、はあ…名残惜しいですが…フェラチオは、このくらいにしておきましょうか…♪

せっかく高まってきたのなら、お口ではなく、私のお……

処女おまんこに、子種、出してほしいです…♪

……ふふ。ええ、もちろん、冗談なんかじゃありませんよ？

ほら、私のここ、見てください…。

んあ、はあ、はあ…ああ…。

愛液が溢れてきて…あ、んんっ…奥まで、こんなにトロトロになってしまいました…んあ、はあ、はあ…ああっ…。

身体がうずいてしまって…ああっ、んっ…もう、セックスしたくてたまらなくなってるんです…っ。

……んっ…はあ、はあ…わかって、いただけましたか？

私、処女なのに…こんな風になってしまったのは、あなたのせいなんですよ…？
…ちゃんと責任、勃起おちんちんで取ってくれますよね？
……あ、んん…まだ、そんなことを言うのですね…だったら…

んあ、あああ…はあ、はあ…ん、ああ…。
……んっ、ふふっ、か、感じますか？
あああ、んっ、ん…愛液たっぷりのおまんこ、おちんちんに擦れて…や、ああ、んっ…い、
入れたくなってきましたか…？

……嘘、ですよ？
あ、ああっ…こんなに、おちんちん反応させて…や、ああっ、んっ…セックスしたいくせ
に、強がりばかり言って…。

あ、ああっ…あ、んんっ、はあ、はあ…。
おちんちん震えてっ…あ、んっ…ちゃんと、感じてるじゃないですか…んっ…。
あっ、あああっ…あ、んんっ…カチカチのおちんちんで、おまんこ擦るの…あ、ああっ、ん
っ…わ、私も、気持ちいいですっ…んあっ、ああっ…♪

こ、これだけでも、き、気持ちいいけど…っ、んっ、はあ、はあ…ああ、本当のセックスし
たら…きっと、これより気持ちいいから…っ。
んっ、ああっ…はあはあ…だから、ね…？

あ、あっ、ああっ…んあ、ああっ…はあ、はあ…。
ほら、ほら…エッチ、したくなってきましたよね？
私の処女おまんこに入れたって…あ、あああ…思ってるんじゃないですか？
せ、セックス…セックスしましょう…？ あ、ああっ…あ、んんっ… 避妊なしのセック
ス、
生セックスう…っ♪

……んあっ、あっ、あああっ…はあ、はあ…。

…あ、ああ…ふふっ、やっと折れてくれましたね…？
ん、ああっ、う、…嬉しいです…やっと、私と同じ気持ちになってくれて…
…では、早速始めましょうか…私達の、初めてのエッチを…♪

……心配はいりませんよ？ あなたに変わって、私が上で動いてあげますから…♪

んっ…あ、ああっ…

はあ、はあ…んっ、ああ…っ。

こ、これでもう…私のおまんこ、処女ではなくなっていました…♪

……んっ、あ、ああっ…勃起おちんちん、ますます中で膨らんでっ…んあ、ああっ…そ、そんなに、私の処女を奪ったのが嬉しいのですか…？

はあ、はあ…ああ、んっ…さっきまで、あんなことを言ってたくせに…あ、んっ…早速喜ぶなんて…はあ、はあ…

やっぱり、したかったんじゃないですかぁ……おまんこ、生エッチ♪

…ふ、ふふっ…ちゃんと、わかっていますよ…？

優しいあなたのことだから…あ、ああっ、私のことを気にして…あ、んっ…我慢、してくれていたのですね…？

でも、もういいんです……これからは、性欲と欲望のまま…あんっ、んうっ…禁じられたセックス、しましょうねえ…

あ、ああっ…あ、ああっ…んっ、んん、はあ、はあ…あ、んん…っ。

こ、こんな感じで、いいでしょうか…？

方法は淫呪の書で知ったのですが、んっ、ああっ…実際にするのは、は、初めてなので…っ。

……あ、ああっ、ん、んっ…よ、よかった、です…ああ、んっ…。

でしたらこのまま…あ、ああっ、あ、んっ…私の処女おまんこ、はあ、あ、んっ…いっぱい、楽しんでくださいね…♪

はあ、はあ…初めてなのに…んあっ、あん、ああっ…おまんこ、すっごく気持ちいい…あ、んっ…あ、ああっ…。

おかしい、ですよ…？ シスターなのにっ…あ、ああっ…セックスをして、感じてしまうなんて…っ。

んっ、ああっ、ああ…あ、あっ、ああっ…。

こ、これは、神への裏切り行為なのに…んあっ、ああっ…はあ、はあ…。

でも、もっと、もっとって…身体が勝手に、あ、んっ…おちんちんを、求めてしまう…っ。
…こんな、淫らな私のこと、あ、んんっ…はあ、はあ…嫌いになっちゃった…？

……あ、ああっ、ん、あ、あああ…な、慰めでも、そう言ってくれて、嬉しい…あ、んっ…

あ、ああっ、あ、ああっ…お、おちんちん、また大きくなって…ひあっ、ああっ…深いところ当たるの…おっおっ…んっ、あっ…き、気持ちいいっ…♪
はあ、はあ…んっ、おっ、お” おっ、あ、んっ、あああっ…。
……あなたも、感じてくれてるんですね？ んあ、あ、んんっ…う、嬉しいです…この快感を、共有できて…はあ、はあ…んっ、ああ…っ。

あ、お” っお” お” っ…す、すごいっ…ん” っ、お” っ、お” お” っ…お、おちんちん、気持ちいいっ…おっお” お” お…っ。
んっんう……ふえ！？ そ、そんなに、下品な声、出しちゃってますか…？ んお” 、お” おっ…はあ、はあ…ぜ、全然、気づかなかった…お” っ、ん、んおっ…。
で、でもっ…それもこれも、おっ、んんっ…おちんちんが、悪いん、だからあっ…んお” っ、おっ、んん…っ。
こ、こんな、気持ちよかったら…んおっ、おおっ、出したくなくても…お” っ、お” おっ…下品な声、勝手に出ちゃうのお…っ、おお…っ

お” っお” おっ…せ、セックスって、すごいっ…こ、このままだと、本当におかしく…んお” っ、お、お” おっ…。

はあ、ああ…あん、はあ、はあ……あ、あなたも、そう、みたいです…？
はあ、ああ…んっんう、ああ…
限界が近いなら…おおっ、んんっ…我慢、しないでください…
んっんう、ああ……んんう

……お” っ、んんっ…で、出そう、なんですか…？
い、いいですよっ…そ、そのまま、中で射精してください…っ。
んお” っ、おっ、お” おっ…教えに背いた…お、んんっ…汚れたシスターおまんこにっ…な、中出しして、い、いいからあ…
んっんっんう、ああ…我慢なんて、絶対無理ですよお…？
あなたはもう、んう、私のことが大好きなんですからあ……んっんう、おお好きな子のおまんこに、種付けしたくなっちゃうのは、男性の本能なんですから…あんこのまま、奥に…んう、注いでください…っ、はあ、ああ…んっんう出してっ…出して出してっ…お” っ、お” おっ…精液出してえっ…！

んっ…ん” ん” っ…んお” っ、お” お” お…っ。

んっ…あ、あああ…はあ、はあ…あ…あ、あああ…。

あ、ありがとう、ございます…いっぱい、おまんこに中出ししてくれましたね…♪
びゅーっ、びゅーって…あなたの子種が、どくどくうって、注ぎ込まれてるの…ん、はあ、
はあ…感じます…っ。

んっ、お、ああっ……はあ、はあ……。

それに…あ、んっ…あああ…っ。
すごい…おまんこの中から、こんなに溢れちゃうくらい出してくれて…嬉しいです…♪
おかげで…ああ、んっ…魔力も、一気に高まって、ああ…っ♪

これで…最後の望みを叶えられそう…♪ ふふ

■トラック4 淫呪の書、孕ませの章

……私の目的、気になりますか？
それを教える前に…まずは、あなたを自由にしておあげますね…♪
んっ…さあ、これで動けるようになったはずですよ。

……困惑するのもわかります。
ですが…ここからは、あなたの協力が不可欠なんです…。
私の、最後の望み…それは…。
思いっきり…あなたとセックスをしたい…っ。
…あなたの意思で、私を犯してほしいのです…っ。
…あなただって、本当は自分で動きたいと思っていたんじゃないですか…？
ほら、おちんちんもガチガチで…やる気に満ちているじゃありませんか。
今すぐにでも私をベッドに押し倒して、犯してしまってもいいのですよ…？

……まだ、決心がつきませんか？

私はシスターですが、女でもあります……。あまり待たされるのも、辛いんですよ…？

ですから…あなたをその気にさせてあげますね

んあ、ああ…はあ、んんっ…ほら、こうすれば、よく見えますよね…っ。

んっ、はぁ、はぁっ…正直に言ってくれれば…おぉっ、んんっ…こうやって…もっと近くで、私の声…聞かせてあげるのに…っ♪

……んお” っ、お” お” お” おおおっ！？

お” っ、お” っ、お” お” おっ…こ、こんな、わかりやすい反応するなんて…おっ、んん…

っ。

や、やっぱり、この声で、興奮しちゃってたんだ…？

お”っ、お”っ、お”おっ…！

そ、そんなに好きならっ…んお”っ、お”お”おっ…いっぱい聞かせてあげるからっ…おっ、ん”ん”っ…もっと、私のこと犯してえっ…！

んお”お”おっ…せ、セックス、ぎ”、気持ちいい”っ…！

お”っお”っお”おおっ…おちんちんっ、激しく動いてっ…おっおおっ…おまんこ犯されるの、好き…っ！

……だ、だからあ…っ、お”っお”っん”ん”っ…もっと、深いところ当ててもいい、いいよっ…

んっんんう、な、なに、これえっ…！ 一番奥っ…当たってるの、伝わってきて…んおおっ、おおっ…こ、こんなの知らないのにっ…んお”っ、お”おおっ…！
で、でも…っ、おっ、んんっ…こ、これ、すき…っ…！

ああっ…先っぽが、私の奥…っ、赤ちゃんができちゃうところ、おお
お”っお”っ、ん”っ、お”お”おおっ…も、もっと、ほしい…っ！

はあ、はあ、んっ、お”お”っ…子宮、お、おちんちんで、い、いっぱいトントンしてえっ…！

……ま、また、深いところっ…んお”お”っ…奥に当てるの好きなんだっ…？
お”う”っ、ん”ん”っ…う、うんっ…私も、好き…っ♪

お、おまんこの中、かき回されるのっ…き、気持ちいいよおっ…おっ、お”おおっ…ん”ん”っ…！

……ね、ねえ、キスも、したい…っ。

き…気持ち良すぎてっ、い、イっちゃいそう…だから…っ、おっおおおっ、んんっ…キスしながら、イきたい…っ。

ね、ねえ、いいでしょ…？ おっおっおおおおっ…キス、キスしたい、キスしたい…っ。
いっぱいべろちゅーしながら、エッチしたら…絶対、もっと気持ちいいからっ…だ、だからもう…しちゃうね…？

んっ、はあ、はあ…お”っ、お”おおっ…ん”っ…ちゅ、ちゅっ…んおっ、お”お”っ…れるっ、れるううっ、んじゅっ、れるれるお…っ♪

おっ、おっ、んんっ…こ、これ、すごく気持ちいい…っ！
んじゅる、じゅぷ、れるうっ、ん、ちゅうっ…満たされていく感じがして…おっ、んん
っ、れるっ、れるお…すぎ、すぎい…っ♪
も、もっと…ちゅーして…んっ、ちゅ、ちゅ、れるうっ♪

んお” っお” おおっ…い、いいよおっ…こ、こんなに気持ちいいなんてっ…教えて禁止され
るのも、わかる気がするっ…れるっ、んじゅ、れるうっ…♪
こ、こんなの知ったら…れるっ、んんっ、おっお” おっ…お互い、戻れなくなっちゃうね
…っ♪
で、でも、もういいから…っ、いっぱいいっぱい、エッチなべろちゅーしてえ…♪ して、
くださいい…っ♪

んお” おっ、おっ、お” お” おっ…！
……い、イキそう、なのっ？
……んおおっ、おおっ…う、うん…っ！ こ、このまま、中を出してほしいっ…んちゅう
っ、れるっ、れるうっ、んじゅるうっ♪
あ、赤ちゃん、できちゃってもいいからあっ…思いっきり、れるっ、れるうっ、おまんこに
れるれるうっ…だ、出して…っ！
れるっ、れるうっ、出してっ…れるれるっ、んちゅううう、子種、子宮に出してっ、出して
え…っ！

……んっ、お” っ、お” っ、お” お” お” おおおおおっ…！？
んっ…おっお” お…ん” んんん……っ

はあ…はあ…はあ…う、ああ……

……私も、一緒にイッちゃったあ…♪
キスしながら、中出しされるの…す、すごく、気持ちよかった、です…♪
あ、ああっ…こんなに中出しされたら…赤ちゃん、妊娠しちゃったかも…♪

……あ、んっ…孕ませたかもって聞いて、興奮しちゃった…？ また、おちんちん大きく
なってるよ…？ それとも、まだしたいとか…。

……え、な、なんのこと…？
呪いはまだ、解けていませんよ…？
……あ。瞳の色は、その……あくまで、形だけじゃないでしょうか…

だって…そうじゃないと、私のおまんこ、まだ疼いて…んう、ムラムラしている説明がつきません…

はあ、ああ……なので、私の呪いは、まだ解けていないんです……ふふ
だからあ、おまんこ生セックス、もっとしまししょうねえ…♪

んあっ、あっああっ…あ、んっ、あああっ、あっ…んっ、ああっ…♪

……ふふっ…こんな身体を密着させていたら、逃げられるわけじゃないじゃないですか…♪
あっ、んんっ…んおっ、おおおっ…♪
でも、本当は逃げようなんて思っていない、ですよ…？ あっ、ああっ、んんっ…♪
やろうと思えば、簡単に振りほどけるのに…あ、ああっ、んんっ…そうしないのは…あなたもセックスしたいから…っ、そうだよ…？

……んおっ、お”っ、お” おおっ！？
私の予想、当たってたみたい…♪ んおっお” おっ、お” おっ…。
み…認めた途端、こんなに突き上げてくるなんて…っ、んお” おっ、お” っ、んん…っ、本当に、獣みたい、ですねっ…おっ、んんっ♪

で、でも、私は好きですよ…っ、欲望たっぷり、腰突き上げてくるの…っ、んっ、お” っ、お” っ、だ、大好きいっ…♪
だ、だからあ…も、もっと、もっとしてえっ…♪

はむ。
んはっ！

ま、またっ…き、い、きそうっ…！ おっ、んんっ…お、お願いっ…このまま、また、中に出してっ…お” っお” っ、ん” んっ…！

あ、あなた精子っ…出してっ、出してえっ…！

はむ。
んお” っ！？ おっお” おっ、お” っ、お” おっ…！

はあ、はあ…んおっ、おおおっ…まだ、こんなに出るなんて…お、おお…す、すごい…♪

で、でもお…はあ、はあ…もっと、もっと、セックスしたいなあ…♪

んんっ、も、もう一回しょ？ ね、いいよね…？

んっんう、あん、あっああ…ふあああ、あああ
おちんちん、気持ち良い……はあ、ああ…れるお、んれるう、れるれるう、れるろお
耳を舐めると、もっと…あん、悦んでくれて…ああ、
お”っ、お” おっ、んんっ…
もう、何回も出してるのに、勃起しっぱなしで…き、気持ち良すぎるよお…っ
んおっおおっ、おおっ…こんな、いっぱいピストンしてくれてえ…んっ、おおっ…し、幸せ
え…♪
はあ、ああ…んう、ああ…

あむ。
んはあ。

……んっ、んんっ、べ、別に、理由なんて…私はただ、何回もセックスしたいだけ…んお”
っ、お” おっ！？

う、嘘…本当は…ここから出たら、おっ、んんっ…もうできなくなっちゃう、からあっ…！

…だから…後悔しないように、たっぷり、しておきたいのっ…あ、あなたも、わかってくれるでしょ…？
……おっ、んんっ、よ、よかった…♪

だったら…最後までちゃんと、してくれるよね…？

あむ。
んちゅ。

はあ、ああ…んっんう、んあ、おっおお、ああ…はあ、はあ…

ね、ねえ…これで最後、最後にするからあ…また、べろちゅーしながら、エッチ、しょ…
っ？

……んっんっんう、あんっ、ふあっああ……んちゅうう
んちゅ、れるっ、れるっ、れるおっ…♪
あ、ああっ…しゅぎっ、しゅぎっ…れるっ、れるううっ、れるっ、れるうっ…しゅきな
おっ…♪

れるっ、んっ、んんっ…しゅきっ、れるっ…しゅきっ、んおっ、れるう…しゅーきいいっ
♪

んんんううう……んお”っ、お”おおっ…！？
んっ、んん…っ、んちゅううう……ふお…っ、んんう
んちゅう……ふーっ、ふーっ、れるれるう、んちゅっ、ちゆるう…れるれる…れるちゅう
う……っ、ちゅぱあ…っ

はあ、はあ……ああ……お、はあ……ふああ…

な、中出し…ありがとうございます…っ、何回も、濃いのを注いでくれて…あ、んっ…と、
とっても、幸せえ……♪

……あ、は、はい。理由は分かりませんが、呪いは完全に解けたみたいです。
ということは、外にも出られるはずですが…できればその、もう少しだけ、このままでも
いいでしょうか…？
まだ、エッチの余韻を……あなたのおちんちん、中で感じてたいから…。
はあ、ああ……。ふふ

もちろん分かっているとは思いますが、今日のことは、お互いに秘密…ですからね？
こんなやさしいこと、神様にだって、内緒です……
……ん、ちゅ。ふふ

■トラック5 エピローグ

こ、こんばんは…。
申し訳ありません、こんな夜更けに…。

……あ。私のこと、心配してくださるのですね。
確かに、勝手に修道院を抜け出すのは、罰の対象ではありますが…ただ、どうしても先日
のことを謝りたくて…。

そのっ…あの時は、本当に申し訳ありませんでした…っ。
淫呪の書の効果とは言え、あなたに、あ、あんな、淫らな行為をしてしまって…。
……許していただけたとは思っていませんが、これだけは、お伝えておかねばと思いまして

…。

……えっと、用件はこれだけですが…

その…実は…お聞きたいことがありまして…。

あなたは、あれから…どう夜を過ごしていましたか…？

……何を聞こうとしているのか、わかります？

私が呪われる前、性のお悩みを懺悔されていましたよね？ おちんちんシコシコお…って。我慢できず、何回もしてしまう、と。

私とのセックスを思い出しながら…毎日のようにオナニーしていたのではありませんか…？

……ふふっ、そのくらいお見通しです♪

…だって…私も、同じでしたから。

あれから私は、セックスを思い出しながら…こっそり、自慰行為をしてしまいました…それこそ、一日に何回も…っ。

罪深い行為だとわかっていても、やめられなくて…私は、あなたと同じオナニー狂いになってしまったのです…。

けれど、自慰だけでは私の心は満たされませんでした…。

それはたぶん、あなたも同じではないですか…？

本物のおまんこを思い出して、オナニーしても…ん、ああ…何か物足りなくて…。

また、あんなセックスをしたいって…そう思っていたんじゃないでしょうか…？

……私は、したいですよ。また、互いの性欲をぶつけ合うような、激しいセックス…♪

……ふふっ、身体は正直ですね？

では早速、勃起おちんちんをズボンから出してあげましょうか…♪

ん…んあ、あ、あああっ…♪

はあ、はあ…あ、んん…相変わらず、たくましいおちんちん…♪

もうこんなに大きくしてくれて…嬉しいです♪

それに…ん、あああっ…っ、すごく熱くてっ…はあ、はあ…この感触、ずっと恋しかった…っ♪

……あつ、あなたも、私の手が恋しかったみたいですね？
それとも…こうして囁かれるのがよかったのでしょうか…？
ん、ああ…そういえば、おちんちん刺激されながら、耳を舐められるのも…好きでしたよね？
では、早速…んあ、あああ…。
んあ、ああ…れる、ん、れるう…んちゅ、れる、れろお…んじゅるっ、れるう、れろっ、れろお…ああ、んんっ…
ふふっ…早速、おちんちん跳ねさせて…悦んでくれて、嬉しいです…♪

あむ。
んちゅ。

おちんちん…すごく膨らんできてますよ…？
やっぱり、耳舐められながら…擦られるの、好きなんですね…？
いいですよ…？ 好きなだけ、味わってください…♪

あむ。
んちゅ。

……んあ、はあ、はあ……ふふ。いえ、私は呪われてなどいませんよ？
…ほら、この瞳を見れば、わかりますよね…？
……これでもまだ、納得できませんか？

じ、じゃあ、恥ずかしいですが…あなたには全部…教えますね？

ん…ああ…呪いなんか関係ありません…。
私は、自分の意思でこうしているんです…れろっ、れるっ、んん…ちゅうっ。
私は性欲に負けて、あなたの家に押しかけてしまうような、ふしだらな女なんです…っ。
この前だって…れるっ、んう、ああ…呪いが解除されてからも、欲望のままにセックスを続けてしまいましたし…。
んっ、はあ、はあ…ああ、れるっ、ちゅ…れるれろお…はあ、はあ…。

これで、わかりましたか…？ 私が、清らかなシスターなんかじゃないってこと…んあ、あ
あっ…はあ、はあ…。
私はシスター失格で…今だって、この勃起おちんちん、おまんこで食べちゃいたいんです

…はあ、はあ…んっ、ああ…。

ね…お、お願いしますっ…セックス、しましょう…？

また、あの時みたいな、激しい交尾がしたいんですっ…はあ、はあ…こんなに勃起させて
るんですから…いいですよ…？

っ、んあ、ああっ…あっ、んっ、あああっ、はあ、はあ…。

……ふふっ、許可を貰う前に、入れちゃいました…♪

でも、抵抗しなかったのは…そういうことでいいんですよ？

んっ…あ、あああ…あ、んんっ…はあ、はあ…。

あなたは座ったまま、動かなくていいですから…はあ、はあ…あ、ああっ…このまま、久々
に、シスターおまんこ…味わってください♪

んっ、ああっ…久々のおちんちんっ…すごく、気持ちいいっ…これが、ずっと欲しかった
の…っ。

このたくましいおちんちんで、おまんこ擦るの、好き…あっ、あああっ…

こんなの、絶対にオナニーなんかじゃ、味わえない…っ、ひあっ、あ、ああっ。

……んぐっ、んあっ、ああっ…！ お、おちんちんっ、深いところまできてっ…き、気持ち
いい…っ、あ、ああ…っ。

……んあっ、あっ、ああ…っ！ あ、あなたも、腰を動かすなんて…っ、やっ、ああっ…や
っと…本気になってくれたんですね…んっ、ああっ！

い、いいですよっ…？ あなたも、私と一緒に…気持ちよくなりましょう…っ？

あむ。

んはあ。

んっ、ああっ…んっ…おっ、おおおっ…こ、これ、ぎもじいいっ…

や、やっぱり…セックスって…んおっ、おおっ…さ、最高…っ♪

あ、あなたも、そう思うでしょう…？ んおっ、お、おっ…はあ、はあ、んんっ…！

……っ、そ、それはっ…わ、わかってるっ…こんなことをするのは、シスター失格だって…
んっ、おっ、おおおっ…！

でも…どうしても、この気持ちは…っ、んおっ、おっ、おおっ…んっ、はあ、はあ…あなたと、繋がりたいという気持ちだけは、もうどうしても止められないのお…っ、やっ、んっ…おっ、お” おおっ…！

はむ。

んはあ。

はあ、ああ…誰でもいいってわけじゃない…

あなた以外とするセックスなんて、考えられないの…っ、んっ、ああっ…

私は、あなただから…あなたがいいからっ…セックス、してるんです…っ

んっんう、あん、ふあっああ…

はむ。

んはあ。

……はあ、はあ…ま、まだ、私の気持ちに気づいてくれないの…？ んっ、んおっ、おおっ…なんて、そんなこと…言わないとわからないよね…。

んっ…んあっ、ああっ…おっ、おおっ、んんっ…！ はあ、はあ…

わ、私…っ、好き、なの…あなたのことっ…ずっと、前から…っ！

んっんう、ああ……ふふっ、そっか…今まで、気づかれなかったということは…あっ、ああ…私、それなりにシスターできてたのかな…あんっ、んっ、あああっ…。

……う、うん…私が、この気持ちを隠してたのは…んっ、はあ、はあ…修道院の教えに、従っていたから…んあっ、あああっ…。

本当は、最後まで隠し通すつもりだったけど…あ、ああっ…段々と、耐えられなくなって…そんなときに見つけたのが…淫呪の書…んっ、んんっ…。

淫呪の書は、私の欲求を膨らませて…んっ、ああっ…正直にさせてくれた…っ、だから、私はあのとき、魔法であなたしか入れないようにしてたのっ…んあっ、おっ、んんっ…！

……そ、そう…ずっと前から、あなたとこうしたかったけど…っ、んくっ、んおっ、おおっ…私はシスターだから…っ、教えに逆えなくて…っ、んおおっ、おお…っ。

でも、それももう、終わり…んっ、ああっ…嘘は、ヤメにするね…？

私は、あなたが好きっ…好き、好きっ…大好き…っ。

すき……すき、すきっ…すき、すき、すきっ…あなたが好きなの…っ。

はむ。
んはあ。

……んくっ、んっ、あああ…っ、んっ、はあ、はあ…え……本当…？
し…信じられない…両思いだったなんて…♪

あっ、ああっ、ああっ…あああ、そっか…やっとわかった…んっ…あのとき、催淫魔法が
あんまり効かなかったのは、そういうことだったんだ…。
……え、えっと…あの魔法は、私を好きな相手には効かないらしくて…あ、ああ…どうし
て、気づかなかったんだろう…んっ、ああっ…。

け、けど…あ、んっ…今はもう、そんなこと、どうでもいい…っ、あなたと、同じ気持ちっ
てだけで…あ、あああっ、んっ…すごく、嬉しいから…っ。

はむ。
んはあ。

はあ、ああ…んっんう、ああ……好き、大好きい……んっんう、あん、ああ…

ほんと、だよ？ あの時に告白しなかったのは、淫呪の書のせいかもって、思われるでしょ
…？ あ、ああっ…。
だ、だから…あ、んんっ…今夜、修道院を抜け出してきたの…っ
告白するかどうかは、けっこう迷ったけど…んくっ、あああっ…おっ、おおっ…で、でも…
勇気を出して、よかった…っ。

はあ、ああ…んっんう、ああ……あと、もう一つだけ、隠してたことがあって…
んっ、ああ……びっくりしちゃうかもだけど、実はね……はあ、ああ…あん
私のお腹の中、赤ちゃんがいるの
はあ、んう、ああ……うん、そうっ…あの時のセックスで、できちゃったみたい…♪
はあ、はあ…んっ、おっ……ああ、受け入れて…くれる？
んっんう、ああ…あんっ、お、おお……ふああ、嬉しい…
はあ、ああ……ありがとう。…好き、大好きだよ…っ

ちゅばあ……はあ、ああ…好きい、んっんう、おお…っ、ああんっ

また、激しくっ…んんう、おっおお、あああ……精液、出そう…なの…っ？ はあ、はあ…
んお”っ、おお”おっ…！
……う、うん…出して…いいよっ？ 出して、ほしいっ…！
でも、はあ、はあ…射精するなら、べろちゅーしながらあ…んっ…んちゅ、れるっ、れる
お…んじゅ、んじゅっ、じゅぶっ…れるうっ…！
んおっ、お”っ、お”おお…れるっ、んっ、んんっ…！
やっぱり…これ、好きい…っ。はあ、ああ…舌絡めながらセックスするの、大好きいっ…
♪

んっ、れるっ…好き、好き、好き、れるっ、んじゅっ、れるっ、れるうっ…好き、好き、好
き、大好きいっ…！
んじゅるっ、じゅぶ、れるっ、れろおっ…はあ、はあ…あ、んんっ、れるっ、れるうっ…！
……んっ、んん…だ、出してっ…出して、出して…っ、子宮にいっぱい、せーし出してええ
っ…！

……んんんうううっ、ちゅううう…おおお、ふあああ……っ！

ちゅばあ……はあ、はあ……お

中、あつつうい…っ、はあ、ああ……いっぱい出されて…あん、私も、イツちゃったあ…
はあ、はあ……ああ
……え？ ふふっ、今さら…？
なんだか、自分でも気づかないうちに、口調が戻っちゃってたみたい…
でも、このほうが、昔に戻ったみたいでしょ…？
……思えば、私がシスターになってから、ずいぶんと時間が経っちゃったね…。
そのせいで、私は修道院に預けられたけど……今はこうして、あなたと繋がれて、本当に良
かった…。
色々あったけど、赤ちゃんも、できちゃったし……

あ、そのこと…なんだけど。
呪いが解けた理由……私が、孕んじやったから、みたい。
淫呪の書の力は、元々子作りをするためのものらしくて…。
あなたの子種、たくさん搾り取っちゃったから……うう。
ほ、ほんとに知らなかったんだよ…？ 恋人になりたいなあとは思ってたけど、子供のこ
とまでは考えてなくて…。

…でも、両想いで良かったなあ……。
こんな形になっちゃったけど、もし次があるなら……。

あの本がなくても、子作りエッチ…しようね？
……ふふ、約束
これからは、ずーっと一緒だよ
今度こそ、離れ離れにならないように……ね。ふふ